



第66回大島レース

2016年関東トラディショナルシリーズ(KTS)第2戦

帆 走 指 示 書

2016年5月28日~5月29日

1 適用規則

- 1-1 セーリング規則(RRS) 2013-2016(以下RRSと言う)に定義された規則。
但し、日没後から翌日の日の出までの夜間は RRS第2章に代わって海上衝突予防法を適用する。
- 1-2 ORC Rating Systems 2016。但し GPH600 以上の艇は、搭載するスピネーカーの制限枚数を4とする。
- 1-3 IRC 規則 2016、および日本セーリング連盟 IRC 規定(証書記載枚数よりも1枚追加されたスピネーカーの搭載を認める)
- 1-4 X-35 ワンデザインクラス日本国内規定
- 1-5 JSAF 外洋特別規定 2016-2017【モノハル・カテゴリー3】
- 1-6 第66回大島レース レース公示
- 1-7 第66回大島レース 帆走指示書。ただしこれらの規則等が矛盾する場合は本帆走指示書を優先する。

2 競技者への通告

競技者への通告は、2016年5月28日(土)08:00より、葉山マリーナー イエローハウス 2F内に設けられたレース本部公式掲示板にて行う。実行委員会は、公式掲示板に掲載される以前に大島レース実行委員会ホームページに掲載する。

(URL <http://www.hmyc.or.jp/oshima2016/index.html>)

これはあくまでサービスであり、抗議、救済の要求の対象とはならない。

3 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書の変更は2016年5月28日(土)09:00までに公式掲示板に掲載される。
変更があった時点でサービスとして大島実行委員会ホームページに掲載される。
- 3-2 帆走指示書の変更は海上で口頭により行うことができる。

4 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5 レースの日程

2016年5月28日(土)10時55分 予告信号

2016年5月29日(日)16時00分 タイムリミット

6 レースの成立

タイムリミット内に1艇でもフィニッシュした場合に、レースは成立する。

7 クラス旗 及び レース旗

- 7-1 参加艇が掲げるクラス別の識別旗は、特にこれを定めない。
- 7-2 各艇はレース中、レース旗を掲揚していなければならない。
レース旗は上からJSAFバージ(小)、外洋レース旗の順に掲揚していること。
- 7-3 このレース旗は自艇がチェックインを受ける時点からレース終了時まで掲揚していなければな

らない。レース旗の下端はデッキより1.5 m以上の高さで掲揚する。

8 コース

葉山沖 → 初島（反時計廻り） → 大島（反時計廻り） → 葉山沖（フィニッシュ）
距離 91マイル（成績算出に使用する）

9 マーク

スタート時にポートの端にあるマーク（アウターマーク）は黄色の円筒形ブイ。
フィニッシュ時にポートの端にあるマーク（アウターマーク）は黄色の円筒形ブイ。
尚、夜間はこのブイ上部に黄色のフラッシュライトをセットし明滅させる。

10 スタート

- 10-1 RRS26を用いて、予告信号をスタート信号前の5分とし、スタートさせる
- 10-2 予告信号旗はSORC大バージを使用する。
- 10-3 スタートラインはスターボードの端にあるスタートマーク（本部船）上にJSAF大旗を掲揚しているポール（マスト）とポートの端のスタートマークの間とする。
- 10-4 参加艇はスタート予告信号10分前までに、JSAF大旗とL旗を掲揚している本部船の船尾をスターボードタックで通過し、艇名、セールナンバー、乗員数を本部船に伝え出走の確認を受け（チェックイン）、同時に本帆走指示書18-1に定める動作をしなければならない。
- 10-5 スタート信号の30分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。（RRS A4の変更）
- 10-6 タート信号時に、艇が規則29.1 に従わなければならない場合、本部船艇は音響信号一声と共にX旗を掲揚するが、同時にVHFチャンネル73でその艇のセール番号を送達するよう試みる。送達の有無や送達時間の的確性に対しては救済要求の根拠にはならない。これは規則60.1(b)および41(c)を変更している。

11 フィニッシュ

- 11-1 フィニッシュラインはフィニッシュマーク上にJSAF大旗を掲揚している本部船のポール（マスト）とポートの端のフィニッシュマークとの間とする。
本部船のおおよその錨泊位置は 35° 16.9' N , 139° 33.3' E（葉山新港の赤灯を70度（MAG）、距離約900mに見る位置）である。
日没後は本部船のマストに“赤色灯縦2つ”を点灯する。
- 11-2 夜間のフィニッシュはフィニッシュ時に自艇のセールをライトで照射し本部船がセール番号の確認をし易い様にする。フィニッシュ後に本部船に口頭で自艇の艇名とセール番号を申告すること。
- 11-3 荒天やその他の理由で本部船が出航できない場合、或いは錨泊できない場合は、フィニッシュラインを葉山マリーナエローハウス2FにJSAF大旗を掲揚したポールと同ポールと江ノ島灯台との重視線上に設置されたフィニッシュマークの間とする。
- 11-4 上記の場合(本部船がフィニッシュラインにいない場合)、艇はフィニッシュ時刻及び近くの艇の関連順位を、最初の妥当な機会にレース委員会に報告すること。（RRS付則L 13.2）

12 レースの中止

荒天等の理由でレースの中止をする場合は2016年5月28日08:00の時点でレース委員会が判断する。
告知は公式掲示板に掲示する。参加艇にはレース委員会から可能な限り連絡を取るがこれはサービスである。

13 ペナルティーの方式

RRS2章以外の規則違反に対しては、失格に替わる罰則を次のように定める。

- 13-1 スタート時 OCSと記録された艇には失格に替わる罰則として10%のタイムペナルティーを課す。（RRS A4の変更）
- 13-2 定められた通信を行わなかった場合は20%のタイムペナルティーを課す。
- 13-3 帰着申告の提出が正当な理由なくして遅れた場合は20%の順位ペナルティーを課す。

- 13-4 その他のRRS 第2章以外の規則違反に対して、失格に代わる罰則としてプロテスト委員会の裁量により失格より軽くすることが出来る。この規定による裁量ペナルティーの略語はDPIとする。

14 タイムリミット

2016年5月29日(日) 16:00 (RRS35の変更)

15 帰着申告

- 15-1 レース艇はフィニッシュ後2時間以内にレース報告書並びに航跡図に必要事項を記載した帰着申告書をレース本部に提出しなければならない。フィニッシュした後に本部船に提出しても構わない。
- 15-2 ハンディGPSで航跡を記録した場合、航跡図は同GPSの提出を条件に21-2で規定する初島および大島回航時刻を記載するのみで可とする。

16 抗議と救済の要求

- 16-1 レース中に発生したケースに対し、抗議の意思がある場合にはフィニッシュ時に本部船にその旨を伝えなければならない(RRS61.1の変更)。
- 16-2 抗議の締め切り時間は自艇のフィニッシュ後2時間以内とする。
- 16-3 抗議に関わる事項は抗議締め切り時刻後1時間以内に公式掲示板により通告する。また各艇へ電話で連絡するがこれはサービスである。
- 16-4 抗議書の提出はeメールまたはFAXに代えることが出来る。FAXの場合、宛先を「葉山マリーナ(株)ハーバー事務所気付 HMYC大島レース本部宛」とされたい。FAX番号は0468-76-1146である。またEメール送付先はoshima.rc@gmail.comである。
- 16-5 本帆走指示書 9、15、16、17、18、20、21項 及びRRS55 については艇からの抗議、救済の要求の根拠にはならない。(RRS60.1の変更)

17 安全に関するレース艇の遵守事項

- 17-1 JSAF外洋特別規定(JSAF-OSR)2016-2017【モノハル・カテゴリー3】の要件を満たしていること。
- 17-2 艇とレースコミッティー間の通信手段は携帯電話を使用する。従って下記の条件を満たした携帯電話2台以上を搭載していること。
- i. 【バッテリー】艇のバッテリー又はその他の方法で充電出来ること。もしくは予備バッテリーを持っていること。
- ii. 【防水ケース】専用の水密ケースに入れた状態で送受信が可能なこと。
- 17-3 レース艇はやむを得ない場合を除いて、レース中はライフジャケットを着用しなければならない。(RRS40の変更)
- 17-4 無線通信に関してはいかなる通信形態・情報も制限しない。これはRRS41の外部の援助に該当しないこととする。
- 17-5 出艇申告後にスタートをしなかった艇及び途中、レースを棄権した艇は直ちにレース本部まで連絡しなければならない。その連絡は艇の責任者が行い、第三者に伝言を託してはならない。
- 17-6 乗員及び艇の安全に関わる場合は、エンジンの使用を認める。(RRS42.3(i)の適用)
この場合、当該艇はフィニッシュ後、レース委員会にできるだけ速やかに書面で、エンジンを使用した理由、日時 使用した時間等の状況を報告しなければならない。

18 乗員、装備及び計測のチェック (インスペクション)

- 18-1 艇は本帆走指示書10-4に定めるチェックイン時にライフジャケットの着用とハーネスの携帯の確認を受けること。
- 18-2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、レース前の艇が本帆走指示書10-4で定めるチェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇又は任意に抽出した艇に対して、随時にインスペクションを実施することができる。

19 乗員の変更

申告書に記載された乗員の変更は、下記時間内に書面(FaxまたはEメールへの添付)で行うこと。

申込み時～5月27日 22時迄 ファクス番号; 045-712-4384
e メールアドレス: oshima.rc@gmail.com
5月27日 22時以降～出港時 : 本部船に書面で行うこと。

20 支援艇

いかなる支援艇及び支援要員も予告信号以降、レース終了又は延期、中止となるまで全てのレース艇に近づくことを禁止する。 又、運営に支障をきたす行為も禁止する。
違反した場合は支援艇に関連した艇が抗議の対象となる。

21 ロールコール

- 21-1 (定時の通告)定められた時刻に**参加艇はレース本部に向けて通話又は電子メールで連絡(ロールコール)**をしなければならない。
その時刻は、18:00、24:00、06:00、12:00 である。
レース委員会は、話中などによる通話の不調を避ける為、電子メールによるロールコールを推奨する。
- 21-2 (回航時刻の通告) 参加艇は初島西岸の「初島フィッシャリーナ」を方位 90 度に見たとき、および「大島竜王崎灯台」を方位 0 度に見たときの時刻を、そのつど出来る限り速やかにレース本部に**通話**で通告しなければならない。
- 21-3 参加艇はフィニッシュ 1 時間前コールを**通話**でレース本部に連絡しなければならない。
- 21-4 コールの内容は自艇の位置、艇及び乗員の状況、海況等 (運用マニュアル参照)
レース本部 電話番号 **090-3687-3420**
- 21-5 各艇が行うロールコールの方法は、別に定める**運用マニュアル**に従うこと。

22 順位 成績

- 22-1 ORCクラブ ; パフォーマンスラインシステム(PL OFFSHORE)により修正秒(CT)を算出する。
IRCクラスはタイムオンタイムにより修正秒(CT)を算出する。
- 22-2 CTで同順位の艇が存在する場合はレーティングの低い艇を上位とする。

23 賞

- 賞は次の通り用意される。
- ・ 大島レース杯は ORC クラス 1 位の艇に。
 - ・ 各クラスの 1 位、2 位 3 位の艇には順位賞を。
 - ・ ファーストホーム賞。
 - ・ その他 主催団体の意を汲み、実行委員会が後日定める特別賞。

24 表彰式

2016年6月4日(土) 夕刻より横浜で開催する。
会場・時刻等の詳細は別途通知する。

25 責任の否認

参加艇、及び参加者は完全に自らのリスク (参加するか否か、スタートするか否か、レースを続行するか否か等、レースに関係する全ての局面におけるものを含む) で本レースに参加する。RRS 規則 4 (レースをすることの決定) を参照のこと。
そして、主催団体である J S A F 加盟団体 外洋湘南 並びに第 66 回大島レース実行委員会はレース艇が引き起こした大会の前後、期間中に生じた直接・間接を含む物理的損害または身体障害に対して、いかなる責任も負わない。

26 保険

賠償責任保険、搭乗者傷害保険 (全乗員分)、捜索救助費用保険に加入していなければならない。

以上

運用マニュアル

艇の安全とレース運営を円滑に進める為に、帆走指示書とは別に以下の通り『大島レース運用マニュアル』を設ける。

マニュアル1： 通信

定時ロールコール

話中などで通話が不調となることを避けるため、定時ロールコールは電子メールによる報告を推奨する。
 記載の通信により聴取した参加艇の情報は、大島レース実行委員会ブログに随時掲載を予定している。
 大島レース実行委員会ブログ URL <http://blog.goo.ne.jp/oshima-rc/>

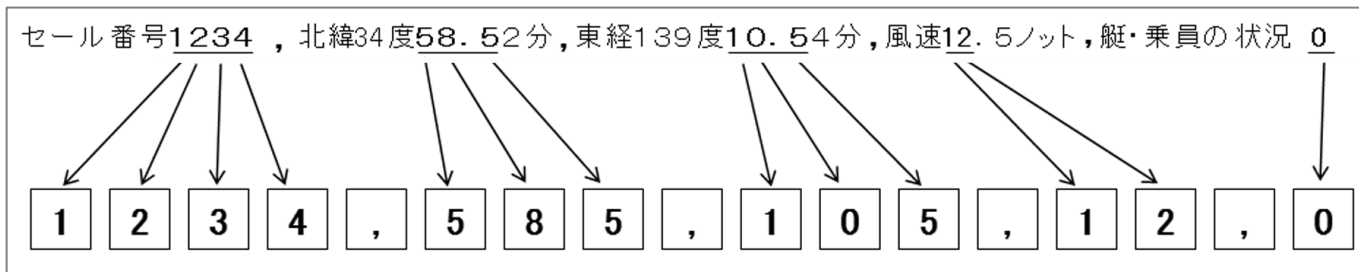
【電子メールによる通信方法、内容】

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
定時ロールコール	18:00 24:00 06:00 12:00	各艇から ↓ 本部へ	① セール番号 ② 位置(経度、緯度) ③ 風速 ④ 艇・乗員の状況 例を下記に示します	送信先アドレス oshima.rc@gmail.com

電子メールでの報告は以下例に示すコンマで分割した数字列を送信してください。
 北緯、東経の「度」の値は不要で、〇〇.〇分で示すされる3桁を送信してください。

艇・乗員の状況は 0；艇・乗員とも異常なし
 1；軽微な損傷はあるが、帆走に支障なくレースを続行する。

【例】 セール番号「1234」の艇が、位置 「北緯 34 度 58.52 分」「東経 139 度 10.54 分」、
 風速 12 ノット、艇・乗員に異常なし。



送信文(例)

【宛先】 oshima.rc@gmail.com

【件名】 自艇のセール番号

【本文】

1234、585、105、12、0 (コンマを含めた16又は17桁)

【携帯電話による通信方法、内容】

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
定時ロールコール	携帯電話 18:00 24:00 06:00 12:00	各艇から ↓ 本部へ 携帯電話	[レース艇] ① 艇名 ② 位置(経度、緯度) ③ 風向 ④ 風速 ⑤ 波高 ⑥ 乗員の状況	*呼出方法 各艇はレース本部を呼び出す。 二回のリダイヤルで接続出来ない場合はレース本部の「副」携帯電話に接続を試みる。 090-3687-3420

初島・大島廻航時刻報告、1時間前コール及び非常時通報（通話のみ）

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
廻航時刻の報告	携帯電話 帆走指示書 21-2項による初島、大島 廻航後	各艇から ↓ 本部へ 携帯電話	[レース艇] ① 艇名 ② 廻航時刻 ③ 風向 ④ 風速 ⑤ 波高 ⑥ 乗員の状況	*呼出方法 定時ロールコールと同様。 090-3687-3420
1時間前コール	携帯電話 帆走指示書 21-3項による	各艇から ↓ 本部へ 携帯電話	① 「〇〇〇号1時間前コールです」 ② おおそよの位置(xxの南 西沖2マイル等又は座標) ③ 艇速、残航 ④ 乗員の状況	*呼出方法 定時ロールコールと同様。 090-3687-3420
レース中の非常時通報	随時	各艇から ↓ 本部携帯電話	① 艇名 ② 位置(緯度・経度) ③ 連絡内容、気象・ 海象・艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同様の運用 手順とする。視認できる艇、船舶 があれば本部に連絡する。 090-3687-3420

マニュアル2： レース中のVHF、携帯電話の状態

事故防止、捜索協力等のためにスタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にしておく事を要望する。

本部艇は国際VHF 73chを常時通信可能な状態にしておく。特に夜間のフィニッシュに際しては有効に利用されたい。

マニュアル3： その他 注意事項

- * 1 竜王崎灯台北東に漁網が設置されている場合がある。
- * 2 本帆走指示書 『19. 乗員の変更』では、変更届の時間的な幅を持たしてある故、安易に考えることなく、これを遵守すること。

以上

主催： 日本セーリング連盟(JSAF)加盟団体 外洋湘南
 運営： 第66回大島レース実行委員会（葉山マリーナヨットクラブ）
 協力： 株式会社 葉山マリーナー